

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3  
 (園番号) No.605 (園名) 東藤島こども園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 保育についての語り合いやドキュメンテーション作成等、園内研修の内容を充実させ、保育の質の向上を図る。	(1) ◎	園内研修の内容を充実させ、保育を振り返ることで、保育の質の向上に努めることができた。
		(2) 自己評価や保護者アンケートを実施し、保育を振り返り、次年度に活かす。	(2) ◎	行事後にアンケート、1月に園評価を行い、分析結果を保護者に報告した。
		(3) 保育カウンセラー、こども療育センター、通所施設等、専門機関と連携し、発達の特長や支援方法を共通理解する。	(3) ◎	保育カウンセラーや通所施設の職員との連携を通して、支援方法を共通理解することができた。
		(4) 安全の心得や危機管理・感染症マニュアル、ヒヤリハットなどを活用し、安全で衛生的な環境を整えていく。	(4) ◎	福井警察署による防犯研修を実施し、不審者対応の知識や技術を学ぶことができた。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 様々な研修会、みあいっこ、園内研修を通して教育・保育の知識や技術の向上を図る。	(5) ◎	保育のみあいっこドキュメンテーションを活用した語り合いを通して保育者の質の向上に努めた。
		(6) 教育・保育要領や認定こども園に関する制度・運営規定などを理解し、専門性の向上に努める。	(6) ◎	教育保育要領ハンドブックを園内研修やみあいっこで活用し、専門性の向上に努めた。
		(7) 福井県幼児教育支援センター、教育総合研究所等の研修に参加し、職員間で伝達し合い、学び合う。	(7) ◎	園外研修や公開保育に積極的に参加し学びを深め、職員間で伝達し合うことができた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 保育体験や個人懇談の実施、連絡帳や送迎時に情報交換や育児等に対する助言を行う。	(8) ◎	未満児は保育体験、以上児は個人懇談、また全クラスでクラス懇談会を行い、保護者支援に努めた。
		(9) 就学に向けての情報共有や、ふれあい児・気になる子の個別計画に基づいた家庭との連携を推進する。	(9) ◎	保護者と定期的に懇談を行い、家庭と連携を取りながら個別支援を行うことができた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放で未入園の親子を受け入れ、遊び場を提供したり、育児相談や情報提供を行う。	(10) ○	家庭教育出前講座や、園の行事などに未入園の親子を招いた。今後、育児相談にも力を入れていきたい。
		(11) 一時預かりを受け入れたたり子育て支援に関するパンフレットを配布したりして、地域の子育て家庭への支援に貢献する。	(11) △	職員が不足していたこともあり、一時預かりを積極的に受け入れることができなかった。
		(12) 育児の相談や援助の知識及び技術向上のための研修に参加する。	(12) ◎	保護者支援の研修に参加し、育児相談の知識、技術の向上に努めた。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健康管理センターでの健診や育児教室、育児相談会等への参加を推進する。	(13) ◎	子育てに不安や悩みを抱えている保護者に、育児相談会への参加を進め、専門機関へ繋げることができた。
		(14) 地区内の危険箇所点検の実施や地区の子育て支援に関する連絡協議会等への参加及び情報を共有する。	(14) ◎	家庭地域学校協議会や園小接続会議に参加し、小学校や児童館、公民館と情報共有することができた。
		(15) 園便り・学校便りを発信し合い、職員同士が授業参観やカウンセラー訪問などで連携・交流の機会がもてるようにする。	(15) ◎	お便りを発信し合ったり、授業参観や保育体験に参加しあったりすることで、職員同士の交流ができた。
		(16) 特別支援教育センターや子ども療育センターとの連携を強化し、取り組みを充実させる。	(16) ◎	通所施設との相互参観や療育センターとの情報共有を行い、連携を図った。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 公民館、児童館に園便りを発信し、公民館や児童館で開催する行事に積極的に参加する。	(17) ◎	公民館の行事に積極的に参加したり、園の花壇の整備に協力いただいたりして、交流を図ることができた。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 小学校教諭の教育・保育体験を受け入れ、園で育んでいることを具体的に伝える。	(18) ◎	小学校教諭に教育・保育体験をしてもらったことで、遊びを通して学ぶ子どもの姿を伝えることができた。
		(19) 東藤島地区まちづくり推進協議会に参加し、地域へ園の取り組みを発信する。	(19) ◎	地区の様々な会議に積極的に参加し、園の取り組みを発信することができた。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 栽培活動や自然体験、交通安全教室等の活動を通して地域の人々とふれあい、地域交流を推進する。	(20) ○	栽培活動を通して地域の人々とふれあい、地域交流を行った。さらに、地域での活動の場を広げていきたい。
(21) ふれあいサマーデーや地区文化祭の参加、作品展示を行い、地域の人々に園の活動を知ってもらう。	(21) ◎	地域の様々な行事に積極的に参加し、園の活動を発信することができた。		
V 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 社会動向やこども園が求められる役割について情報収集し、職員にも周知していく。	(22) ◎	終礼や報告会時に、情報共有をすることができた。今後も一人一人が意欲的に学んでいきたい。
		(23) これからの乳幼児の教育・保育制度について、研修等で学ぶ。	(23) ○	研修等で学んだことを全職員に周知していく方法を探り、園としての質の向上に努めていきたい。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案の作成と実施をして評価し、次年度につなげる。	(24) ○	次年度はアクションプログラムを園内でさらに共有し、職員全体で取り組んでいきたい。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。